

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
生活排水対策の推進	水環境に配慮した生活行動の推進	・家庭からの汚濁物質の低減に努めるため、水環境保全に配慮した生活習慣の呼びかけ		市町村 諏訪地域振興局環境課				
	下水道供用区域における下水道への接続の促進	・遅滞なく下水道に接続するよう、地域住民への啓発・指導の実施		市町村 諏訪湖流域下水道事務所		（下諏訪町） 「下水道の日」にあわせて「クリーンレイク諏訪」施設見学会を実施 （流域下水道） 「下水道の日」にあわせた啓発広告の掲載（3紙）	（下諏訪） B （流域） A	（下諏訪町） 継続的に実施 （流域下水道） 引き続き実施
	浄化槽の適正な設置及び管理の確保	・浄化槽法及び建築基準法に基づく適正な設置を促す		市町村 諏訪建設事務所建築課 諏訪地域振興局環境課		・浄化槽設置届 77 件受理（R6. 2. 8 時点） ・浄化槽あり建築確認申請 50 件（指定確認検査機関含む。R6. 2. 8 時点）	順調	引き続き、適正設置を促す。
		・浄化槽法に基づく適正な管理を促すため、諏訪浄化槽衛生管理組合を通じて、施工者、管理者等への指導・啓発の実施		市町村 諏訪地域振興局環境課		・令和5年9、10月に諏訪浄化槽衛生管理組合、県、各市町村合同で管内6市町村の浄化槽を立入実施した。 ・令和5年6月7日の設置者研修会及び会報の配布により、啓発活動を実施した。	A	引き続き指導・啓発を実施する。
	・浄化槽の保守点検、法定検査受検促進のための立入検査		市町村 諏訪地域振興局環境課		・【県】122件立入を実施した。（令和6年2月8日現在）	A	引き続き立入検査を実施する。	
廃棄物処理施設による処理		・ごみの不法投棄や不適正処理による水質汚濁防止のための一般廃棄物の適正処理の推進		市町村		・不法投棄多発箇所に啓発看板の設置、市報等による啓発	（岡谷） B （下諏訪） B	（岡谷市） 今後も継続して啓発活動を行い、不法投棄の防止に努める （下諏訪町） 看板の設置や防犯カメラの設置、不法投棄の通報があった箇所の見回りなどを行っているが、様々な場所で不法投棄が行われているため、今後も継続して啓発活動を行っていく。
		・一般廃棄物の排出抑制、再使用		市町村				
湖沼の対策	水草の除去	・ヒシの除去を官民連携で進めるための新たな仕組みづくり		ビジョン推進会議構成員等 （水大気環境課） （諏訪地域振興局環境課） 和限		・ロゼット葉のみを除去する手法を試行。第1回WGを開催するとともに、ヒシの特性・生態や他湖沼の事例を学ぶ学習会を開催。 ・ボランティアを始め刈り取り水草の運搬、処理の推進	A	・試行の効果検証、第2回WGの開催
		・水草刈取船によるヒシ除去、試行的な刈取量増加	③④	諏訪建設事務所		・656 t のヒシの刈取りを実施	B	引き続き 510 t / 年以上のヒシ除去を実施する。
		・小型水草刈取船によるヒシ除去	④	諏訪建設事務所		・小型水草刈取船によるヒシの刈取り	B	引き続き小型水草刈取船によるヒシの刈取りを実施する。
		・手作業によるヒシ除去作業	④	ビジョン推進会議構成員等 （諏訪地域振興局環境課）		・初島付近 7/6～8、8/5 実施（8/5 は、あいおいニッセイ同和損保の寄付金活用）除去量 5.0 t（湿潤）	C	・除去量だけでなく発芽抑制量の計上について検討が必要

※1 別様式 令和5年度（2023年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針	
				岡谷市、環境市民会議おみや諏訪湖漁業協同組合		<ul style="list-style-type: none"> 岡谷市ヒシ除去作業（7/8）参加者63人、除去量1t 岡谷子どもエコクラブ除去作業（7/15）参加者28人、除去量1t 	B	ヒシの除去による水質浄化だけではなく、活動をとおして諏訪湖の現状を知るきっかけとなることから、今後も活動を継続していく	
				諏訪市、諏訪市セーリング協会 ほか	信濃毎日新聞社	<ul style="list-style-type: none"> 諏訪市ヒシ除去作業（7/2）※「トヨタソーシャルフェス」として実施 ※悪天候のため作業は中止。諏訪湖の水草についての学習会のみ実施。参加者91人。 	D	民間との連携や環境教育は重要と考えるため継続して実施する	
		・除去したヒシの堆肥化			諏訪建設事務所 諏訪地域振興局環境課 岡谷市 諏訪市	諏訪湖浄化推進「和限」	<ul style="list-style-type: none"> （諏訪建設事務所） ・上記で除去したヒシの堆肥化（諏訪地環境課） ・ビジョン構成員等により手作業で除去したヒシは全量堆肥化（岡谷市） ・おみやエコフェスタ2023来場者へ堆肥を配布した。 ・岡谷子どもエコクラブ参加者へ堆肥を配布した。（諏訪市） ※作業中止により未実施。（和限） ・上記及び長野県ボート協会にて除去したヒシの堆肥化 	（諏訪建） B （環境課） A （諏訪）E	（諏訪建）堆肥化を継続する （諏訪地環境課）引き続き除去したヒシの堆肥化を行う （岡谷市）除去したヒシの活用方法を考えてもらうためにも有効な手段となることから、今後も活動を継続していく （諏訪市）継続する
					・ヒシの資源化に係る取組		(株)みのり建設		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒシと周辺地域の刈草、牛フン資材を用い、ヒシが吸収した栄養分を堆肥として有効活用し、地域に還元できた。
		・効果的にヒシの繁茂を抑制する方法の検討	⑫		水大気環境課		<ul style="list-style-type: none"> ・試験区を設定し、ヒシの効果的な刈取り手法を検証（5月～9月） ・ヒシ繁茂帯での底層溶存酸素量への影響調査 	B	次年度は試験区の事後調査を行い、底層溶存酸素量の環境基準点の設定に向けた検討を行う。
							・その他の水草の除去		長野県ローイング協会 諏訪市セーリング協会
		・ヒシ、水草の除去				太陽工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・社内ボート部による除去作業、啓もう 	A	ヒシ、水草の除去
							覆砂	・沿岸域の一部において覆砂の試行	③
	・覆砂実施箇所におけるシジミの生息状況調査	③	水産試験場諏訪支場		<ul style="list-style-type: none"> ・自然繁殖したシジミの生息調査：6地点（5月、8月、11月） 	A		引き続き調査を実施	
	・浅場造成など水辺整備の推進		諏訪建設事務所		<ul style="list-style-type: none"> ・砂浜整備1箇所 	B		引き続き覆砂を実施する。	
対策 湖沼の	漂着ごみ等の除去	・諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去			アダプトプログラム登録団体、岡谷ライオンズクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖アダプトプログラム実施 			

※1 別様式 令和5年度（2023年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
				岡谷市、諏訪市、下諏訪町	諏訪湖周3市町住民、衛生自治会連合会、岡谷ライオンズクラブ等団体	(岡谷市) ・5/28 諏訪湖及び河川一斉清掃 参加者 2,500人 回収量 453kg ・10/15 諏訪湖周一斉清掃 ※雨天により中止 (諏訪市) ・5/28 春の一斉清掃 参加者 435人、回収量 1,910kg ・10/15 秋の一斉清掃 ※悪天候のため中止 (下諏訪町) ・5/28 一斉清掃 【10/15 一斉清掃は悪天候のため中止】	(岡谷) A (諏訪) C (下諏訪) B	(岡谷市) 継続的な活動が必要 なため、今後も実施 していく (諏訪市) 今後も継続して実施 する (下諏訪町) 今後も継続して実施 する
				下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会		・下諏訪町内での諏訪湖岸清掃 4月～令和6年3月 計11回（町行事への参加を含む） 6年間で計58回実施。 ・第4回諏訪湖まるまるゴミ調査への協力	B	今後も継続して実施する
				諏訪市（都市計画課）	長野県	・諏訪湖水辺Aゾーン漂着物除去 ・年間通してAゾーンの漂着物の除去を行う。	A	毎年実施予定
	・湖底に沈んだごみ・浮遊ごみの除去			諏訪市、諏訪市セーリング協会、諏訪湖カヤック		・9/16 ボート、カヤックを使った諏訪湖浮遊ごみ除去作業 参加者 60人、回収量 83kg	A	今後も継続して実施する
		・ごみの種類・数量の調査		下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会		・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録 4月～11月 計5回	B	今後も継続して実施する
				⑨	ごみのない諏訪湖ワーキンググループ、諏訪市	ながの海ごみゼロプロジェクト実行委員会、上諏訪中学校3学年	・8/4「諏訪湖のごみを調べてみよう」 上諏訪中学校3学年の「総合の学習」において、諏訪湖のごみ調査を実施	A
			ビジョン推進会議構成員他		・第4回諏訪湖まるまるゴミ調査 9/9	A	・引き続きごみの無い諏訪湖 WG の取組を継続する。	
流入河川等の対策	多自然川づくり	・砥川、新川、鴨池川の整備推進		諏訪建設事務所		・砥川、新川、鴨池川において継続実施	B	引き続き河川整備を推進する。
	自然浄化機能を活かした水質浄化	・沿岸域の一部において覆砂の試行（再掲）	③	諏訪建設事務所		・覆砂工 1箇所	B	引き続き覆砂を実施する。
	沈澱ピットによる栄養塩類を含む土砂の除去	・一部土砂掘削し、栄養塩類の分析を実施		諏訪建設事務所		・上川河口にて実施	B	引き続き土砂掘削を実施する。
	植生水路による栄養塩類の除去	・植生水路のヨシ除去		諏訪建設事務所		・ヨシ除去 1箇所	B	引き続きヨシ除去を実施する。
	枯れたヨシ等の除去	・河川愛護活動			アダプトプログラム登録団体			
工場排水対策	排水規制	・排水基準遵守徹底のための立入検査・指導を実施		諏訪地域振興局環境課		・事業所等の立入検査を65件実施（令和6年2月8日時点）（上記以外に、排水基準が適用されない事業場への立入を別途12件実施。）	B	・引き続き立入検査・指導を実施する。
	汚濁負荷量規制	・日平均排水量 50 m ³ 以上の湖沼特定事業場への立入検査・指導の実施		諏訪地域振興局環境課		・事業所等の立入検査を30件実施	A	・引き続き立入検査・指導を実施する。
	下水道接続	・供用区域内の工場・事業場への下水道への接続の促進		市町村 諏訪地域振興局環境課				

※1 別様式 令和5年度（2023年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
畜産に係る汚濁負荷対策		・家畜排せつ物及び畜舎の適正管理の指導・啓発		諏訪農業農村支援センター		・畜産農家巡回による適正指導の実施（21件）	A	R6年度も巡回により管理状況を確認
魚類養殖に係る汚濁負荷対策		・湖沼法指定施設における規制基準の遵守の徹底		諏訪地域振興局環境課		・現在該当施設はないが、施設が設置された場合には啓発・指導等を実施		
流出水対策	市街地対策	・道路路面の清掃		市町村 諏訪建設事務所		・【県】311.4km	B	引き続き実施する。
		・道路側溝、水路等の清掃		市町村 諏訪建設事務所		・【県】131km、 ・【市町村】（岡谷市）市発注が200m、各行政区が6,500m 他	B	引き続き実施する。
		・不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発		市町村		（岡谷市、下諏訪町） ・不法投棄多発箇所に啓発看板の設置、市報等による啓発 （諏訪市） ・ポイ捨て防止のぼり旗及び不法投棄防止看板の設置・支給 ・広報すわに啓発記事掲載 ・悪質案件のプレスリリース	（岡谷）B （諏訪）B （下諏訪）B	（岡谷市） 今後も継続して啓発活動を行い、不法投棄の防止に努める （諏訪市） 今後も継続して実施する （下諏訪町） 看板や防犯カメラの設置が必要と思われる箇所には随時設置を行っているが、様々な場所で不法投棄が行われているため、今後も継続して啓発活動を行っていく。
	農地対策	・GAPの実践による持続的な農業生産の実現		諏訪農業農村支援センター		・国際水準GAPの取得推進 5件	A	取得の支援（1件）
		・環境にやさしい農業への取組拡大		諏訪農業農村支援センター		・信州の環境にやさしい農産物認証の取組面積件85hA	A	引き続き取組を推進（85hA）
		・みどりの食料システム法に基づく認定を通じた意識啓発		諏訪農業農村支援センター		・緑肥作物の利用を推進（176hA）	A	引き続き支援
		・地域における農地や農業用水路等における環境保全		諏訪農業農村支援センター		・環境保全型農業直接支払制度の取組推進（4市町村）	A	引き続き取組を推進（4市町村）
		・ヒシを原料とした堆肥の活用促進		（株）みのり建設 市町村 諏訪地域振興局（環境課・諏訪農業農村支援センター） 和限	堆肥化事業者	・管内47の小中学校・養護学校に加え、福祉大学校にヒシ堆肥を配布。また、計4回の環境イベントにおいてもヒシ堆肥を配布し、地域における資源循環を啓発	A	・引き続きヒシ堆肥による資源循環の啓発を行う
	自然地域対策	・間伐を中心とした森林整備・植林		市町村 諏訪地域振興局林務課 和限		・【県実績】0.0hA 【市町村等実績】（岡谷市）7.94hA、（下諏訪町）19.93hA 植林協力（大人の植樹、ジブリの森、加子母水源、東日本大震災）	（岡谷）A （下諏訪）C （林務）C	（岡谷市） 間伐を中心とした森林整備・植林 （下諏訪町） 計画的に森林整備を行う （諏訪地林務課） 市町村と連携して、森林整備を推進し、土砂流出を抑止する。

※1 別様式 令和5年度（2023年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
		・治山施設の建設		諏訪地域振興局林務課		・15箇所を実施	C	計画的な治山施設の建設を推進し、土砂の流出を抑制する。
		・砂防施設の建設		諏訪建設事務所		・3溪流（朽久保川、大沢川、竹の沢川、蓮井川）で実施	B	砂防施設の整備を促進する
		・ゴルフ場などの汚濁負荷流出防止への努力を啓発		諏訪地域振興局環境課		・ゴルフ場排水検査について7施設（諏訪レイクヒルカントリークラブ、諏訪湖カントリークラブ、蓼科高原カントリークラブ、鹿島南蓼科ゴルフコース、三井の森蓼科ゴルフ倶楽部、蓼科東急ゴルフコース、フォレストカントリークラブ三井の森）で実施	A	引き続き指導・啓発を行う
公共用水域の水質監視	水質の測定	・水質常時監視	⑤	松本保健福祉事務所検査課 環境保全研究所		・湖内環境基準点3地点及び釜口水門 月1回	B	引き続き実施する。
		・その他水質検査		諏訪湖クラブ	長野県水質マップネット	・諏訪湖クラブ（諏訪湖・天竜川水系分担）、全国一斉水質調査への参加（10名、30地点）及び長野県水質マップ作製（28団体、285地点）（継続・令和6年度は6月2日に実施） ・ナノバブルを利用した諏訪湖沿岸域環境改善実験（企画作成）継続 ・豊かな湖を取り戻す「自治体連携」推進活動（継続）		
	水質汚濁事故の対応	・油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導		市町村 諏訪地域振興局（環境課・諏訪農業農村支援センター） 諏訪建設事務所	消防、警察	・市報等による啓発（岡谷市） ・流出事故が発生し原因者が判明した場合に、今後の事故防止のために指導を行う。（諏訪市） ・原因者が判明した場合には注意・指導 ・広報すわに啓発記事掲載（下諏訪町） ・油類の流出事故が発生し、原因者へ今後の事故防止のために指導を行った。	（諏訪）B （下諏訪）B	（諏訪市） 今後も継続して実施する （下諏訪町） 今後も継続して実施する
生物豊かな湖岸域の復元・創出	水生生物の管理	・生物豊かな湖岸域の復元・創出に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続き実施する。
		・護岸整備等の事業効果を検証するための事後調査	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続き実施する。
	豊かな漁場環境の再生	・水産生物が生息しやすい構造物の設置		諏訪地域振興局（環境課、農業農村支援センター）和限	諏訪湖漁協	・Bゾーンにおいて湖岸で人工浮漁礁等を造成し、水生動物の生息や産卵場所を作出 ・竹炭利用による浄化及び植生の推進	A	・人工浮漁礁の効果を検証
		・ヒシの除去を官民連携で進めるための新たな仕組みづくり（再掲）		ビジョン推進会議構成員等 （水大気環境課） （諏訪地域振興局環境課）和限		・ロゼット葉のみを除去する手法を試行。第1回WGを開催するとともに、ヒシの特性・生態や他湖沼の事例を学ぶ学習会を開催。 ・メタン菌によるメタンガス発生実験の協力	A	・試行の効果検証、第2回WGの開催
		・水草刈取船によるヒシ除去、試行的な刈取量増加（再掲）	③④	諏訪建設事務所		・656tのヒシの刈取りを実施	B	引き続き510t/年以上のヒシ除去を実施する。
		・小型水草刈取船によるヒシ除去（再掲）	③④	諏訪建設事務所		・小型水草刈取船によるヒシの刈取り	B	引き続き小型水草刈取船によるヒシの刈取りを実施する。
・手作業によるヒシ除去作業（再掲）	④	ビジョン推進会議構成員等 （諏訪地域振興局環境課）		・初島付近7/6～8、8/5実施（8/5は、あいおいニッセイ同和損保の寄付金活用）除去量5.0t（湿潤）	C	・除去量だけでなく発芽抑制量の計上について検討が必要		
		岡谷市、環境市民会議おみや諏訪湖漁業協同組合	岡谷ライオンズクラブ	・岡谷市ヒシ除去作業（7/8）参加者63人、除去量1t	B	ヒシの除去による水質浄化だけではな		

※1 別様式 令和5年度（2023年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	調査研究 ※1	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
						・岡谷子どもエコクラブ除去作業（7/15） 参加者 28 人、除去量 1t		く、活動をとおして諏訪湖の現状を知るきっかけとなることから、今後も活動を継続していく
				諏訪市、諏訪市セーリング協会 ほか	信濃毎日新聞社	・諏訪市ヒシ除去作業（7/1） ※「トヨタソーシャルフェス」として実施 ※悪天候のため作業は中止。諏訪湖の水草についての学習会のみ実施。参加者 91 人。	D	民間との連携や環境教育は重要と考えるため継続して実施する
		・魚食性鳥類からの食害防除	⑧	諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター		・漁船による追払い（年9 1 日）、花火の使用	A	継続実施
		・魚食性鳥類防除技術の検討	⑫	諏訪地域振興局（林務課・ 諏訪農業農村支援センター） 水産試験場諏訪支場、諏訪湖漁業協同組合		・カワアイサ生態調査の実施 ・効果的な追払い手法の検討 ・ドローンの活用技術の検討（2 回）	C	調査・検討結果を対策に反映させていく
	・外来魚の駆除		諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター		・周年 ・ブラックバス、ブルーギルの捕獲・駆除	A	継続実施	
貧酸素対策の推進	底層 D0 の類型当てはめ	・底層溶存酸素量の測定地点を設定して監視・測定	①	環境保全研究所 水大気環境課		・溶存酸素：湖内連続測定 7 地点（7 月～12 月）	A	底層溶存酸素量の環境基準点の検討
	湖岸域の対策	・水草刈取船によるヒシ除去（再掲）	③④	諏訪建設事務所		・656 t のヒシの刈取りを実施	B	引き続き 510 t / 年以上のヒシ除去を実施する。
		・沿岸域の一部において覆砂の試行（再掲）	③⑨	諏訪建設事務所		・覆砂工 1 箇所	B	引き続き覆砂を実施する。
	貧酸素に関する調査・研究	・地元大学との連携による溶存酸素測定 ・溶存酸素濃度等連続測定 ・底質環境（沿岸域）の調査研究	①	環境保全研究所 水大気環境課	信州大学理学部 附属諏訪臨湖実験所	・溶存酸素：湖内連続測定 8 地点（6 月～12 月） ・底質環境：底泥酸素消費量等 湖内 5～7 地点（5 月、6 月、8 月）	B	継続実施
		・官民協働による諏訪湖貧酸素及び底質改善効果検証	①	諏訪湖クラブ	公立諏訪東京理科大学信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所 民間企業の協力	・諏訪湖沿岸域を対象とする実証実験計画の策定、提案、実施（継続）	継続	現地実用実験への展開
		・IoTを活用した水質データのリアルタイム監視		諏訪市 諏訪湖漁業協同組合	信州大学理学部 附属諏訪臨湖実験所 Mole's A Ct 他	・湖心 1 地点 3 層（周年）、沿岸 1～2 地点 1 層、湖岸 1～2 地点。	A	引き続き実施する
多様な生育・生息基盤の創出	エゴの再生に向けた調査研究・エコトーンの復活	・豊かな生態系が保たれている Bゾーンを中心に動植物のモニタリングの実施	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続き実施する
	水辺移行帯機能の修復	・水産生物が生息しやすい構造物の設置（再掲）		諏訪地域振興局（環境課、 農業農村支援センター）	諏訪湖漁協	・Bゾーンにおいて湖岸で人工浮漁礁等を造成し、水生動物の生息や産卵場所を作出	A	・人工浮漁礁の効果を検証
	湖辺環境保護地区の指定に向けた検討	・現状の把握	④⑨	水大気環境課		特になし	E	必要に応じ検討
	間伐を中心とした森林整備	・間伐、植栽		市町村 諏訪地域振興局林務課		・【県実績】 0.0hA 【市町村等実績】（岡谷市） 7.94hA、（下諏訪町） 19.93hA	（岡谷） A （下諏訪） C	（岡谷市） 間伐を中心とした森林整備・植林（下諏訪町） 計画的に森林整備を行う

※1 別様式 令和5年度（2023年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和5年度の取組	調査研究※1	構成員	連携団体	取組実績	進捗状況	今後の取組方針
水生動植物の管理	環境整備	・生物多様性を創出する護岸整備（Cゾーン）に向けた調査等	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続き実施する。
		・水産生物が生息しやすい構造物の設置（再掲）		諏訪地域振興局（環境課、農業農村支援センター）	諏訪湖漁協	・Bゾーンにおいて湖岸で人工浮漁礁等を造成し、水生動物の生息や産卵場所を作出	A	・人工浮漁礁の効果を検証
		・沿岸域の一部において覆砂の試行（再掲）	③	諏訪建設事務所		・覆砂工1箇所	B	引き続き覆砂を実施する。
		・白鳥飛来地環境整備		諏訪湖白鳥の会		・環境整備（6、10月）	A	継続実施
		・アレチウリ等外来植物の駆除（湖周、流入河川）		市町村		（岡谷市） ・除去事業への補助 補助件数2件（諏訪市） ・上川アレチウリ駆除作業（6/17）参加者17人 駆除量31kg ・湖畔オオハンゴンソウ駆除作業（8/8）参加者9人 駆除量220kg ・広報すわに啓発記事掲載	（岡谷）B （諏訪）B	（岡谷市）今後も継続した駆除活動を実施する（諏訪市）地道な駆除作業の継続が必要のため、今後も継続して実施する
	モニタリング	・水生動植物の生息調査	⑧	環境保全研究所		・抽水植物帯の動植物調査（年5回） ・ドローンによる空撮	B	引き続き調査を実施する
		・指標水生植物（ヒシ）のモニタリング（年1回）	④	水産試験場諏訪支場		・ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域（8月年1回）	A	引き続き実施
		・指標水生動物（シジミ）のモニタリング調査（再掲）	③	水産試験場諏訪支場		・覆砂場所6地点（5月、8月、11月）	A	引き続き実施
		・指標水生動物（メガネサナエ）の保全に向けた啓発	⑫	諏訪地域振興局環境課		・流入河川の成虫調査3回（8～9月） ・諏訪湖岸の羽化殻調査3回（7～8月） ・保全手法検討会議を1月に開催 ・小中学校におけるカササギの解説（7、11月）	A	引き続きモニタリングを実施するとともに、啓発を行う。
		・白鳥の観察		諏訪湖白鳥の会		・初飛来確認日～北帰行確認日まで	A	継続実施
漁業の振興	環境整備	・生物多様性を創出する護岸整備（Cゾーン）に向けた調査等（再掲）	④	諏訪建設事務所		・Cゾーンにおける動植物調査	B	引き続き実施する。
		・沿岸域の一部において覆砂の試行（再掲）	③⑨	諏訪建設事務所		・覆砂工1箇所	B	引き続き覆砂を実施する。
	環境再生	・漁場環境水質調査	①	水産試験場諏訪支場		・湖心：月1回 ・他4地点：週1回（5月～9月）	A	引き続き実施
		・湖内定置網捕獲によるワカサギ採卵技術開発		水産試験場諏訪支場		成熟期の湖内定置網によるワカサギ親魚捕獲・採卵（3回）	C	ワカサギの産卵期に実施
		・ワカサギ生育状況・資源量調査	⑧	水産試験場諏訪支場、諏訪湖漁業協同組合		・月1回（5～11月）	A	引き続き実施
		・テナガエビ資源管理手法開発		水産試験場諏訪支場		・捕獲調査 月1回（5月～3月）	B	引き続き実施
	食害防除・外来種駆除	・エビ種苗放流		諏訪湖漁業協同組合、水産試験場諏訪支場		・4.8kg	A	引き続き実施
		・魚食性鳥類からの食害防除（再掲）	⑨	諏訪湖漁業協同組合 諏訪農業農村支援センター		・追払い（年91日）、花火・ドローン等の利用	A	追払い、花火の利用
・魚食性鳥類防除技術の検討（再掲）	⑬	諏訪地域振興局（林務課・諏訪農業農村支援センター） 水産試験場諏訪支場、諏訪湖漁業協同組合		・カワアイサ生態調査の実施 ・効果的な追払い手法の検討 ・ドローンの活用技術の検討（2回）	C	調査・検討結果を対策に反映させていく		

※1 別様式 令和5年度（2023年度）構成員等活動実績 「調査研究」の取組（番号）と関連しています。